

平成 27 年度 糸魚川市教育研究会図工・美術部 活動報告

部長 富永 清文

1 研究・活動のねらい

児童生徒の実態や地域の実情に即して課題を明確にし、それに基づいた研究を推進する。また、学習指導要領の趣旨を踏まえた図工・美術教育の振興を図る。

2 研究・活動の概要

- (1) 会員の図工・美術教育についての理解と指導力の向上を図る実践的研修の実施
- (2) 地域における美術教育の振興を図る市児童生徒図工・美術作品展の開催

3 研究の実際

(1) 美術教育講演会

- ①日 時 平成 27 年 8 月 20 日(木) 13:00～14:40
- ②会 場 糸魚川市立青海小学校
- ③講 師 新潟大学教育学部 教授 柳沼 宏寿 様
- ④演 題 「美術教育の力 ～子どもと共に夢を追いかける授業～」
- ⑤概 要

柳沼先生が福島県の中学校に勤務されていた当時の、感性を高める美術教育の実践や、教科の枠を超えたスケールの大きな実践、新潟大学にいられてからの小中学校でのワークショップや地域と連携したアートプロジェクトなど、楽しく夢のある興味深い実践を数多く紹介していただいた。美術教育の魅力や可能性、授業改善のポイント、今後の美術教育に求められることなど、示唆に富む貴重な研修であった。

(2) 授業研究会

- ①日 時 平成 27 年 10 月 22 日(木) 13:10～17:20
- ②会 場 糸魚川市立青海小学校、谷村美術館
- ③指導者 全体指導：横浜国立大学教育人間科学部准教授 大泉 義一 様
分科会Ⅰ：上越市立八千浦小学校校長 細井 一貞 様
分科会Ⅱ：上越教育事務所学校支援第2課長 梅澤 崇 様
- ④授業者 3年生：青海小 飯田美輝夫 教諭
5年生：青海小 坂口 敏生 教諭
- ⑤題材名 3年生：「谷村美術館のすてき みっけ！」
5年生：「命をふきこめ!!『コマコマビデオ』」
- ⑥概 要

県小学校教育研究会の図画工作の研究指定を受けている青海小学校の中間発表会への参加という形で実施した。研究主題は「かかわりづくりだす力を培う図画工作科授業の創造」で、3年生の地域の美術館における作品や建造物などの鑑賞の授業と、5年生のICTを活用したコマ撮りビデオ作品作りの授業を参観した。分科会では、協議題を中心にワールドカフェ方式による活発な協議が行われた。そして、指導者の先生方からは、公開授業をもとにしながら、これからの図画工作科で目指すものや授業づくり、育てたい資質・能力とその見取りなどについて丁寧にご指導をいただいた。

(3) 市児童生徒図工・美術作品展

- ①期 日 平成 27 年 11 月 14 日(土)から 11 月 16 日(月)
- ②会 場 青海総合文化会館 きらら青海
- ③概 要

市内の児童生徒が普段の授業やクラブ活動、課外活動等で制作した平面作品、立体作品、計約 320 点を展示した。地域の図工・美術に関する大切な行事として定着しており、3日間で 1000 人以上の方に鑑賞していただいた。

4 成果と課題

年度当初、実技講習会を行う予定であったが、新潟大学の柳沼先生の講演を聴講できるまたとない機会があったことから、講演会への参加に変えて実施した。授業研究会とともに、会員の授業改善を図る上でも、美術教育についての理解を広げ、深める上でも、大変有意義な研修になった。会員の図工・美術のスキルアップも大切なので、次年度は実技講習の機会を設定したい。児童生徒図工・美術作品展については、出品数を増やしたり運営方法を工夫したりするなど、今年度の反省をもとに改善を図って実施したい。